

花と緑のまちづくり推進プロジェクト

1 花と緑のまちづくり推進の必要性

どのような美しいまちづくりにも、花と緑は不可欠であり、花と緑のまちづくりによって以下のような効果が期待できる。安全・安心のまちづくり、地域のコミュニケーション円滑化、観光産業等地域振興、住みたくなる居住・働きたくなる職場環境形成（資産・不動産価値向上）、情操教育・自然環境教育・アクティブラーニングの一環等多様な効果。



一部の市町を除いて世界の各国に比較して日本の現状は寂しい限りである。

市民参加の「花と緑のまちづくり」を、行政による効果的な支援制度（ハード・ソフト）等の下、市民、企業、教育機関等が主体的に楽しくやりがいのある活動として推進できるような、持続的取り組み体制を構築して取り組むことが必須（植栽場所は、公共施設だけでなく民有地も活用できる）。



多様な花緑分野の関係者による情報提供・技術指導・提言等の交流を通じて、豊かで魅力的な都市・地域空間と文化の創造に貢献し快適な都市環境の実現・地域創成・活性化の推進に資する支援等が求められる。

上記を実現するため、
3組織の取り組み体制を整備

花と緑のまちづくり
全国首長会議
「花緑サミット（仮称）」

市民・企業等による
「花と緑の美しいまちづくり
団体連絡協議会（仮称）」

関連企業等による
支援組織
「花と緑のまちづくり
活動支援新組織（仮称）」
（ガーデンを考える会）

2 花と緑のまちづくり全国首長会と市民団体、関係組織の役割分担基本方針(案)

1. 花と緑のまちづくり全国首長会議「花緑サミット(仮称)」

：全国の「花と緑の都市・地域づくり」に積極的に取り組んでいる首長による連絡会議

花と緑の都市・地域づくりについて積極的にとりくんでいる市町の首長達が、よりよい花と緑のまちづくりを実現するため、率先して交流を図るとともに、NPO等の多様な関係者と一堂に会し、またインターネットを通じて遠隔地間の連携・情報交換、提言等を行うことで、豊かで魅力的な都市・地域空間と文化の創造に貢献し、快適な都市環境の実現・地域活性化に一翼を担う活動の輪を全国展開する。

2. 市民・企業等による

「花と緑の美しいまちづくり団体連絡協議会(仮称)」

：全国各地で花と緑のまちづくりをすすめる様々な団体・グループが、それぞれの団体ごとの活動尊重しつつ、交流をすすめ共通で実施できる活動については全国的取り組みとして展開

JSURP(日本都市計画家協会)の、「美しいまちづくり研究会」として活動する(各団体に賛助会員としての参加要請)。研究会は、花と緑のまちづくり全国首長会議との同時開催が望ましいが、全国都市緑化フェア等との連携もある。

3. 関連企業等による支援組織

「花と緑のまちづくり活動支援新組織(仮称)」

：全国首長会や市民主体の取り組みを、技術・情報・資金(協賛)等の側面から支援する組織となる「ガーデンを考える会」の再構築(今年度総会で実施 既会員を引き継ぐ・退会会社等にも再加入を呼びかけ)

当面100法人を結集する(ハード面〈園芸・造園関連：種苗会社・市場流通関係・各地域大型ナーセリー/園芸資材培養土 肥料 農薬等資材/地域ごとの造園会社(設計も含む)〉 ソフト面〈広報宣伝・メディア・企業CSR活動〉)。



これら3つの組織の有機的連携により活動を推進する(常設の事務局を支援新組織内に置き3組織の連絡調整・事務処理に対応)。